

強健・長期どりののできる濃緑・中型種

ピーマン

# あきのの



## ■特 性

1. ウイルスに極めて強く、高温時にもよく発育して作りやすく、長期どりができて収量も多い。
2. 果色はきわ立った濃緑色で、光沢もあり、市場性が高い。
3. 果は「新さきがけ」などのような中型系で多少しわがあり、果肉もうすいが、やや大型で40 g内外で収穫する。
4. 中型系品種を栽培する地帯で(越冬栽培を除く)、従来品種ではやや小さいという場合には最適といえる。
5. 適作型は半促成、トンネル、露地早熟栽培の長期どりに好適し、越冬栽培にはむかない。

## ■栽 培

1. 育苗、定植等の管理・栽植密度等は従来品種と同様でよい。
2. 肥料は有機質を多用するとともに、中・後期の追肥を多目にする。
3. 土質は夏期乾燥しにくいところをえらびたい。特に中型系ピーマンに共通することであるが、乾燥すると果形がくずれやすく、凹み果が多くなる。灌水・敷ワラ等の水分管理に注意する。
4. 草姿は半開性で、枝条は強く、節間もつまり、あまり密な枝の出方はしないので初期、簡単な支柱を立てればあとはネットを張る作り方でよい。
5. 収穫がおくれると相当な大果となるので株の負担が大きくなり、果の肥大が悪くなる。40 g内外で収穫するよう特に留意したい。